

## ご存知ですか？「一時集合場所」

一時集合場所は、大きな災害が起こった時に、避難所や避難場所に避難するために一時的に集まる場所です。

町会・自治会単位で場所が指定されており、市民消火隊の器具庫などが設置されているところもあります。もしもの時に頼りになる一時集合場所。皆さんの一時集合場所はどこなのか、どんな施設が整備されているか確認してみませんか。



大森中川端児童公園は、川端自治会の一時集合場所です。



100トンの防火水槽が広場に埋められています。



川端自治会の消防隊のポンプ格納庫も設置されています。

### ◆避難の基本的な流れ (状況によって変わる場合があります)



このニュースは、防災まちづくりの会の目的  
とする「自らのまちは自ら守る」を実現させ  
るために発行しています。  
いざという時に助け合えるまちづくりは、  
産業化・都市化した現在ではたやすいことで  
あります。でも、多くの方々にこのニュースを読んで頂  
き、関心をもつていただければ大きな希望となることで  
しょう。(八)

編集後記

この二年間は、防災まちづくりの会の目的  
とする「自らのまちは自ら守る」を実現させ  
るために発行しています。  
いざという時に助け合えるまちづくりは、  
産業化・都市化した現在ではたやすいことで  
あります。でも、多くの方々にこのニュースを読んで頂  
き、関心をもつていただければ大きな希望となることで  
しょう。(八)

## 大森中・蒲田・糀谷地区 防災まちづくりニュース NO.10

平成15年3月

大森中地区 防災生活圈促進事業

編集：大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりの会

発行：大田区 まちづくり推進部 まちづくり課 TEL.5744-1338

### 防災まちづくりフェアを開催しました

昨年11月24日(日)に、当会主催による3回目の「大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりフェア」を開催しました。当日は、雨も心配される寒い日でしたが、200名以上のかたに参加いただき、会の活動報告、備蓄食品クッキング、バケツリレーなどの体験などを行うことができました。

### ◆屋内での内容



児童館を通じて、約90人の子ども達に防災まちづくりポスターを描いていただきました。



地区の歴史を振り返りながら、会の活動経過を紹介しました。



乾燥もちを使った「もちピッタ」など、備蓄食品の料理は大変人気がありました。

### 来場者アンケートから

- ・基本的に地震の際には火災を起さないことが大切なことだと思う。電気、ガスの元栓をしっかり閉めるだけでも、火災等の減少になると思う。
- ・乾パンなど、今まで食べたことのなかった非常食が、あそこまでおいしく食べられることを知つてびっくりした。
- ・バケツリレーの競争、クッキング、投げて水バッフルの使い方など、児童による体験を中心にすることも必要だと感じた。